



今月号のトピックス

▶ Chika のインドネシア体験記No.16 ▶ 賛助会員募集のお知らせ ▶ 多田が講師になる

Chika のインドネシア体験記



親戚一行が訪ねてきた

家族を含む、親戚一行6名がインドネシアにやって来ました。1年ぶりに再会し、バリ島を観光したのちボアレモ県に向かいました。トランジットの4時間を含めて9時間ほどの長旅です。ホストファミリーは大歓迎してくれました。(日本人を家に泊めるということは、それだけの財力と部屋がたくさんあると周りへのアピールになる)

前日から親戚のおばさん2人が泊まり込みで準備をしてくれました。ドリアン・マンゴスチン・ランサットなど珍しいインドネシアフルーツを味わいました。

露店の焼きトウモロコシ(ボアレモ特産)やバナナを食べました。買い込んだバナナを車の中で食べて「皮をどうしよう」と言った母、「窓から投げて」と言われて目を白黒させました。

Chika プロフィール

現在(公財)花巻国際交流協会スタッフとして勤務
2010年~2012年までの2年間インドネシア共和国ゴロンタロ州ボアレモ県に栄養士隊員として派遣される。
首都ジャカルタよりボアレモ県まで直線距離で約2,300 km。ジャカルタから飛行機で(約3時間)→ミニバスに乗り換え(約3時間)→ボアレモ県に到着



職場で記念撮影。髭ダンディーは副所長。

笑バナナ(訃鐘)



ドリアン



マンゴスチン



ランサット



シルサック



小バナナ(笙食鐘)

ボアレモあるある②

ボアレモ県警察のルール、私の知人が訪ねて来たら彼らを警察へ見せに行くこと。私服警察官Aに事前にアポイントをとって、到着した翌日警察署へ向かいました。初ベントールに親戚一行は大喜び。日本人がベントール3台で警察署に乗りつけると注目の的になりました。いつもならすんなり通してもらえるゲートで止められ「Chikaは挨拶しないで他人の台所に入るのか?」と難癖をつけてきました。ここで謝ると相手の思う壺です。「そうだ」と強気に返しました。すると「目的は?」「私服警察官Aに

一行を紹介するために連れて来た」「そんな警察官はいない」と押し問答になりました。そこで警察官Aに電話をかけてやっと中に通されました。

親戚一行はおっかなびっくりで私の後に続き、いつものモクモク部屋に通されました。まず一行の滞在日数と宿泊先を聞かれました。次に全員のパスポートのコピーを取ると言われ、反論しましたがこれは必要なことと言われしぶしぶ渡しました。コピー機が警察署にないので係りの人がコピー屋さんに行っている間、



私は警察官Aとたわいない話をしなければなりません。

警察官を信用できない私は、パスポートを盗られたらどうしようと不安でした。待っている間、野次馬警察官が窓という窓から覗いています。弟Kは「留置場に入れられた見せ物パンダのようだ」と言いました。警察官たちは英語がネイティブの弟Pには英語で話しかけ、他は私の通訳でいろいろ質問をしてきました。

署内にはきれいなタバコの売り子さんがいっぱい来ていていました。様々な銘柄を取り揃え1本から販売。署員たちはタバコを吸いながら話に華を咲かせるばかりで、仕事をしているようには見えません。私たちはやっと解放されパスポートも無事戻りました。短いボアレモ滞在時間を警察署訪問に使わなければならないなんて…。



ゲートの警察官たちから解放されてようやく警察署の中へ。

ボアレモのアイドルと呼ばれた私。外に出るとあちらこちらから「Chika～」と声がかかり手を振るのに忙しい。そんな姿に「姉ちゃんの人気すごっ」と弟が。

飛行機に乗るのは楽しさ半分・怖さ半分

インドネシアの飛行機はよく落ちるとJICAインドネシア仲間の噂です。なので飛行機に乗るときは不安がいっぱい。ゴロンタロ空港に着陸するときは激しい揺れにハラハラドキドキしたものです。飛行機が滑走路に入った牛とぶつかってオーバーランしたニュースもありました。一番怖かったのはタラップを降りているときに飛行機が動き出したことです。



機内での楽しみは邦画を見ること、ガルーダインドネシア航空は邦画も見られます。久しぶりの日本映画に私のテンションは上がります。インドネシアはすごく暑いので、機内の冷房がここぞとばかりに効いています。(インドネシアの最大級のおもてなし) パーカー・ストール・靴下は



ゴロンタロ空港のタラップは手動式。待ち構えている5~6人のおじさんがそのつと動かす。

マカッサル空港でトランジット中「Chika～」と呼ばれ知らないおじさんに話しかけられる。右の女性は私の知り合いの知り合いらしい。ボアレモ県民は私のことを知っているが、私は誰だかわからないはいつものこと。どこに行くの？誰と？なんの為に？と質問責めにあう。OO

必需品です。職場を除いて(医療事故予防のために) いつもビーチサンダル履きの私、飛行機にもその恰好で。そんな姿に家族は呆れ顔です。(インドネシア隊員あるあるの一つ。何故かみんなビーチサンダルでどこでも行く)

2022.4.1~
受付開始

令和4年度 賛助会員募集について

公益財団法人花巻国際交流協会では、国際交流・国際理解・姉妹都市等交流・多文化共生事業などに
取り組む当協会の活動に支援頂ける賛助会員を募集しております。

会員特典

①協会情報誌

『STAR WING』を
毎月お届けします。



②当協会が主催する

各種講座の参加料が、割引されます。

例) 多文化サロン 一般 500円
賛助会員 100円

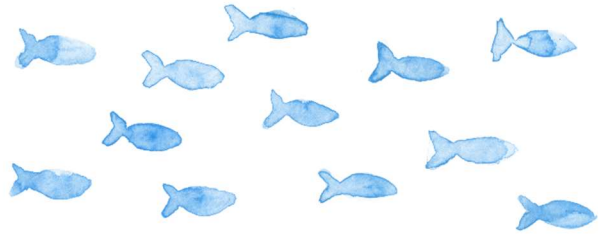


③優先的に
参加申し込みを
受け付けます。

年会費

■ 個人 1口 2,000円
■ 団体 1口 10,000円
■ 加入期間 令和4年4月1日～
令和5年3月31日

※令和3年度は個人30名、団体4団体の皆様に
ご加入頂きました。ありがとうございます。



申込方法・会費納入について

振込

会員規程（HP掲載：<https://hanakokusai.wordpress.com/sanjo/>）に同意頂き、
所定の振込用紙に必要事項記載の上、会費を納入頂くと申込完了。

『振込依頼書』で岩手銀行より振込み頂くと、手数料はかかりません。

- 銀行名：岩手銀行（0123） ● 支店名：花巻支店（010） ● 口座：普通 0440448
- 名義：公益財団法人花巻国際交流協会 理事長 佐々木 史昭
- 取扱指定金融機関：（株）岩手銀行本店、各支店
（指定以外の金融機関をご利用の場合は、手数料がかかります）

窓口

窓口での会費納入も可能です。（平日：午前8時30分から午後5時15分まで）

その他

- ・『振込依頼書』が必要な方は郵送いたしますのでご連絡ください。
- ・昨年度賛助会員および昨年度各種講座受講者（語学講座・多文化サロン等）の方には、
STAR WING4月号と一緒に『振込依頼書』を送付します。

ただこうし 多田が講師になる

岩手県石油産業協同組合 花巻支部

2月21日上記組合の新年交賀会で1時間インドネシアでの活動、生活や石油についての話をおりませながら話しました。今回の衣装は、現地のフォーマルな場で着られる「クラウン」を着用しました。

アイスブレイクにインドネシアクイズを出題しました。賞品はもちろん「コピコ」です。懇親会ではコンパニオンさんと初対面しました。



はなまき 花巻ロータリークラブ

2月22日にゲストスピーカーとして20分「Chikaのインドネシア体験記」と題してお話しました。クバヤを着るには寒かったので衣装はパティックを着用しました。

インドネシアでは五輪真弓の「心の友」が有名ですよと話すと受講者から歌って欲しいとリクエストが入りました。歌ってと言われる感じがインドネシア時代を思い出しました。



としよ 図書だより

Library News



当協会では、一部の本の貸し出しをおこなっております！是非、交流会館まで足をお運びください。
※尚、雑誌はバックナンバーのみ貸し出しいたします。(2週間)

＜定期購読雑誌 最新号の内容＞



• **Hiragana Times** -ひらがなタイムズ-
「もどることがすすむこと」

• **News Week 日本語版**
「緊迫ウクライナ 米口危険水域」

• **ENGLISH JOURNAL**
「自分を変える、未来を変える」

問い合わせ先

〒025-0004 岩手県花巻市葛第3地割183番地1
TEL: 0198-26-5833 FAX: 0198-26-5855
E-MAIL: kokusai_staff_d@ext.city.hanamaki.iwate.jp
ホームページ: <http://hanakokusai.wordpress.com>
開館時間: 8:30~17:15 (土日祝祭日、年末年始は休業)

